

企画展

## 鉋台をつくる

—東京における台屋の成立と発展

Crafting the Kanna-Dai

The Formation and Evolution of Plane Body Artisans in Tokyo

1 | 台屋・伊藤宗一郎の道具

## 開催情報

名称	鉋台をつくる—東京における台屋の成立と発展
会期	2024年3月2日(土)～5月19日(日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)
入館料	一般700円、大高生・65歳以上の方500円、中学生以下無料 ※常設展観覧料を含む
主催	竹中大工道具館
監修	土田昇(土田刃物店店主)
協力	小吉屋渡辺木工所、横堀樫材店
公式サイト	<a href="https://www.dougukan.jp/special_exhibition/kannadai">https://www.dougukan.jp/special_exhibition/kannadai</a>

## お問い合わせ

「鉋台をつくる—東京における台屋の成立と発展」展広報事務局(竹中大工道具館内)  
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1  
TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713  
E-mail: kannadai@dougukan.jp

## 開催趣旨

「<sup>かんなみ</sup>鉋身一丁に鉋台十丁」といわれるほど鉋台の消耗は早く、台鉋の普及から長きに渡り大工たちは自ら鉋台をつくり鉋刃をすげ、より切れ味のよい道具に仕上げ、日々の仕事をしていました。明治時代の終わり頃から、木材をより精密により速やかに加工するためにさまざまな特殊鉋が工夫されるようになると、鉋台づくりの専門職人が現れて昭和に至るまで「台屋」として活躍しました。

展覧会では「ゆるまない」「狂わない」鉋台を打つ名人として知られた鉋台職人、やまあさ伊藤商店店主の伊藤宗一郎さん（1922-2017）を中心に、おもに東京近郊で活躍した個性溢れる台屋たちが生み出した多種多様な鉋を展示し、台入れ工程を台屋が用いる専用の道具や映像等でご紹介します。

近年、台屋は数少ない存在となり再び大工自らが鉋台をつくる時代が訪れています。大工をはじめとする職人たちが優れた手道具を使いこなして腕を振るった時代、鉋台づくりの名人たちはその技を極め、黙々とものづくりを支えていました。これまで語られることの少なかった鉋台職人の世界をぜひご覧ください。

## 展示の見どころ

## やまあさ 伊藤宗一郎の仕事

伊藤宗一郎は13歳で台屋修行に入り80年に及ぶ鉋台づくり一筋の人生を送りました。勢いある台入れの手際と細やかに配慮した素材管理、鉋刃ごとに異なる個性を読み取る卓抜した眼力で上質な鉋台をつくり続けた伊藤による鉋の名品の数々をご覧ください。



2 | 平鉋 伊藤宗一郎作

## くせもの台屋の作品

平鉋のほかに特殊鉋を専門に製作する職人たちがいました。複雑形状の面を削る鉋や一厘単位で刃幅の違う溝鉋を作る名人技は、精度と速度を求める時代の要請に応えようとする挑戦心に支えられていました。相上行近と戸田保男、代表的な“くせもの台屋”の作品をご紹介します。



3 | 一寸角面鉋 相上行近作

## 台屋の道具

台屋が使用する木工具は意外にも大工や建具屋が使うものと大差ない普通の鋸や鑿です。専門の台屋が激減した現在、鉋台製作の道具から見えてくる未来を、使い手が自作した鉋とあわせてご紹介します。



4 | 台屋・伊藤宗一郎の道具（鑿）

主な  
展示  
品

総展示品数：約 200 点



5 | 面取鉋 戸田保男作



6 | 木ネジ機械作里鉋 相上行近作



7 | 蟻取作里鉋 相上行近作



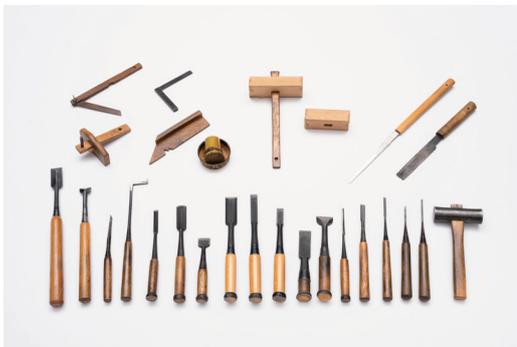
8 | 台屋・伊藤宗一郎の道具 (鑿)



9 | 台屋・伊藤宗一郎の道具 (作業台他)



10 | 台屋・伊藤宗一郎の道具 (鉋)



鉋台の製作道具

## 関連イベント

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。  
最新の情報は「鉋台をつくるー東京における台屋の成立と発展」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

## 実演

## 実演「台入れ」

日時	2024年3月23日(土) 10:00～11:30・14:00～15:30のお好きな時間
場所	竹中大工道具館 B2F 木工室
講師	渡辺光雄(小吉屋渡辺木工所代表)
参加費	無料(別途入館料が必要)
定員	どなたでもご見学いただけます
申込み	不要

## セミナー

「技と心」セミナー [105]  
座談会「鉋台自作の時代」

日時	2024年3月24日(日) 13:30～15:30(13:00開場)
場所	デザイン・クリエイティブセンター神戸〈KIITO〉303 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
講師	渡辺光雄(小吉屋渡辺木工所代表)、土田昇(土田刃物店店主)、 加藤工匠(大工)
定員	80名 (ウェブサイトからの事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費	無料
申込締切	3月2日(土)

WEB 申込  
のみ関連イベント  
申込方法

公式サイト ([https://www.dougukan.jp/special\\_exhibition/kannadai](https://www.dougukan.jp/special_exhibition/kannadai)) 内より  
お申し込みください。



## 当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

## アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分  
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分  
 シティ・ループ「12 新神戸駅前 (1F)」下車徒歩約3分  
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

## 広報用画像

- ・画像データ1~10 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

## お問い合わせ

「鉋台をつくるー東京における台屋の成立と発展」展広報事務局（竹中大工道具館内）  
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1  
TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713  
E-mail：kannadai@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。